互いに認め合い　学び続ける　心豊かな生徒の育成

本校は都市化に伴う生徒数の増加により、昭和 59 年に御南中学校から分かれて開校し、今年で 40 年目を迎える全校生徒 427 名の中規模の学校です。校内にある泰山木は 6 月に常緑の葉の中に白い大きな花を咲かせます。物事の真理を見通す若人の象徴として開校時に校木に選定されました。正門には「誠実・忍耐・創造」の校訓碑が設置されています。互いに尊重し合い、学び合う中で新しいことや困難なことにも挑戦し、夢や希望に向かって粘り強く努力する生徒に育ってほしいという、地域の方々や保護者の願いが込められています。今年度もこの教育理念を実現すべく教職員一丸となって取り組んでいます。

平成 24 年度から道徳教育の充実に取り組み、授業づくりの研修を重ねながら、今日まで道徳の授業を実施しています。その結果、自分の思いを表現できる生徒が増え、教室に支持的な風土が生まれてきました。

数学の少人数学習を実施することにより、よりきめ細やかな指導ができ、生徒一人一人の数学に対する学習意欲の高まりが見られるようになりました。

平成 27 年度から「聴き合い伝え合い、学び合う授業の創造を目指して」を研究主題として協同学習の推進を図っています。コロナ禍の 3 年間でグループでの学び合い活動などが十分に行えない日々が続きましたが、令和 4 年度を「協同学習リスタートの年」として、全員で同じベクトルを持ち、実践しています。

また、GIGA スクール構想 3 年目を迎え、今年度は「使いこなす」、「家庭学習での有効活用」を目標に推進していきます。

さらに「あいさつを　しよう　かえそう　広めよう」というスローガンのもと、保護者や地域の方々のご協力によりあいさつ運動を実施、中学生ボランティアが活躍できる場を地域から提供していただく等、地域とのつながりがより一層強固なものになっています。また、中学校区５校園連携の PTA 活動として年３回の「メディアコントロール週間（習慣）」を実施し、各家庭でメディアの有効利用を考える機会をつくっています。このような様々な取組を実践し、家庭や地域のお力添えを引き継ぎながら、学区の幼稚園、小学校とも連携し、共通の目標と学びでつながる生徒集団の構築に努めています。

令和５年４月

岡山市立芳田中学校
校長　本　郷　昭　治